

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年02月05日

計画の名称	魅力と賑わいのある中心市街地の創出												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和03年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	岡山市												
計画の目標	<p>岡山市が目指す賑わいのある中心市街地の創出に向けては、人が集い、憩える、魅力ある空間づくりを面的に展開することにより、まちなかの回遊性を向上まち全体の賑わい創出につなげていくことが重要である。</p> <p>このため、市民だけでなく来訪者も含めた多くの方々に、まちなかを楽しんでもらえるような魅力ある空間づくりを目指し、公共空間の再構築・バリアフリー化等による快適な歩行空間の確保や沿道事業者等との連携により、低未利用地や道路空間の利活用に向けた検討を行うなど、官民連携による都市再生（リノベーション）を進めるとともに、取組を広げていくための調査・検討を行う。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	1,048	A	1,048	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28		R3 (R5)
1	・市道錦町古京町線（県庁通り）における歩行者通行量（平成28年 休日9h 4,236人）を4割増加 県庁通りにおける歩行者通行者数を測定する。（当初時期H28）（最終目標時期R3） 休日9時間の歩行者通行量	4236人	人	6000人
2	・令和2～3年度の県庁通りにおける沿道店舗の新規出店数（5店舗） 令和2～3年度の県庁通りにおける沿道店舗の新規出店数を調査する。（当初時期R1）（最終目標時期R3）	0店舗数	店舗数	5店舗数
3	・岡山城天守閣の年間の入場者数（平成30年度 327,551人）を約25%増加 岡山城天守閣の年間の入場者数を調査する。（当初時期H30）（最終目標時期R5）	327551人	人	410000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岡山市において当該社会資本整備計画関係課により事後評価を実施	令和6年1月
	公表の方法
	岡山市HPに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市道錦町古京町線（ハレまち通り）の再整備を行った結果、沿道に複数の新規出店が発生した。 ・歩行者通行量については、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したまま、指標計測時には回復していなかったものの、現在は増加傾向にあり、今後達成に期待できる。 ・令和4年11月3日に岡山城をリニューアルオープンした。 ・令和4年11月3日から令和5年11月2日までの1年間で岡山城天守閣の入場者数は472,215人であり、過去最高の入場者数となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・市道錦町古京町線（ハレまち通り）の再整備を通して、沿道事業者等のまちづくり組織が設立され、当該路線の賑わい創出に向けての活動が始まった。 ・道路空間の再整備により拡幅された歩道をオープンカフェ等で活用できる仕組みを構築した。現在5店舗が制度を利用しており、当該路線の賑わい創出に繋がっている。
特記事項（今後の方針等）	
再整備した道路空間等の活用を進めることや、まちづくり組織等が主体となり持続的な魅力・賑わい創出に取り組むため、今後の歩行者通行量の増加等に期待できる。また、各エリア間で連携を図ることでまちなか全体の回遊性向上に繋げる。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	6000人	新型コロナウイルスの影響による通行量の減少が、指標計測時（令和3年度末）には回復しておらず、目標に達することができなかった。なお、令和5年11月に改めて計測したところコロナ禍前と同程度には回復している。
	最終実績値	3963人	
2	最終目標値	5店舗数	道路空間の再整備がはじまったことで、民間事業者の期待値が高まり、多くの新規出店に繋がったと考えられるほか、コロナ禍の影響で空きテナントも発生し、入居がしやすい状況であったことも要因の1つであると考えられる。
	最終実績値	10店舗数	
3	最終目標値	410000人	基幹事業として整備した本丸内に加え、天守閣内における展示内容が好評であったほか、様々なイベントも実施したことから、相乗効果が生まれ、目標値から大幅に超えることができた。
	最終実績値	472215人	